

## 軽水力発電機CappaとKingyoで、 ネパール農村地域での安定した電力供給をめざす ～株式会社茨城製作所、JICA普及・実証事業を開始～

国際協力機構(JICA)が公募した「中小企業海外展開支援事業～普及・実証事業～」に「ヒマラヤ農村地域の生活水準向上に向けた軽水力発電機普及・実証事業」が採択された株式会社茨城製作所(茨城県日立市 代表取締役 菊池伯夫)は、この度、同事業の実施に関する業務委託契約をJICAと締結しました。契約期間は2019年5月末までの2年間となります。

後開発途上国からの脱却をめざすネパールにおいて、地方・農村部の貧困削減は重点分野であり、課題解決のためのエネルギーインフラ整備の一環として、水力発電およびその他の代替エネルギーの開発が優先分野の一つに挙げられています。

2015年3月に採択、同年6月から2016年5月に、同じくJICAの中小企業海外支援事業の枠組みで実施された「ヒマラヤ農村貧困地域における軽水力発電機導入プロジェクト案件化調査」に続く本事業では、水の流れて発電ができる軽水力発電機「Cappa」に加え、新たに開発した1.5mの超低落差から発電可能なペットボトルサイズの低落差式超小型水力発電機「Kingyo」を無電化地域や電力供給の不安定な地域に設置し、学校およびコミュニティに安定した電力を供給することによって、これらが新しいタイプの分散型独立電源(可搬型スモールグリッド)として、ネパール国の農村地域の生活改善に貢献する可能性を実証するとともに、同国での製品の普及方法と課題について整理し、その後の事業展開に向けた検討を行います。



軽水力発電機「Cappa」



低落差式超小型水力発電機「Kingyo」

※「中小企業海外展開支援事業～普及・実証事業～」は、我が国の中小企業などの製品・技術が途上国の開発に有効であることを実証するとともに、現地での適合性を高め、普及を図ることを目的とするものです。

### 【本件に関する問い合わせ先】

筑波国際センター研修業務・市民参加協力課 担当：小峯、實方

TEL:029-838-1117 E-mail: jicatbic@jica.go.jp